



## サザンクロス

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

### ●編集発行

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構  
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階  
TEL (024)947-4400 FAX (024)947-4475



### +

 郡山地域テクノポリス推進機構 紹介

- 郡山地域テクノポリス推進機構～ものづくり企業を応援します～  
令和2年度の主な事業 ……P02

### +

 新事業創出育成

- 起業化支援  
ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営 ……P03
- 新製品開発から事業化までを支援
  - 1 令和2年度 各種助成事業 ……P04
  - 2 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)  
郡山サテライトの開設 ……P04

### +

 人材育成・研究開発促進

- 産学官連携による人材育成  
「Meister's College(マイスターズ・カレッジ) 2019」…P05  
ちびっ子マイスターズ・カレッジ2019  
「動物の鳴き声を作ろう隊!」…P06  
中学生向け医工連携人材育成事業  
「医療の道を歩む、未来への第一歩」 ……P06
- 研究開発・事業化支援  
令和元年度 産学官連携コーディネート業務 ……P07

### +

 起業家育成・起業化支援

- 企業連携の促進  
郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議…P08  
研究開発推進部会  
— 3フォーラムの開催 — ……P10  
須賀川方部アドホック研究会 ……P11
- ICTを活用した産業の振興  
郡山オープンイノベーション(KOI)会議…P11
- 受発注機会の創出  
ICTを活用した商談会(Linkers) ……P11

### +

 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

- ICT交流事業 ……P12
- 情報化人材育成・研修事業 ……P12
- ICT高度利用推進事業 ……P13
- 総会・監査会・ボードメンバー会議 ……P13
- 令和2年度の主な事業・イベント ……P13

### +

 イベントへの出席 ……P13

### +

 テクノインフォメーション

- 令和元年度 理事会等の開催報告 ……P14
- 令和2年度の主な事業・イベント ……P14
- 役員・職員等の紹介 ……P15

### +

 ごあいさつ

## 「産業支援機関として」

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 滝田康雄 …… P01

## 産業支援機関として

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 滝田 康雄



東日本大震災及び原子力災害から9年が経過し、圏域内では、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」をはじめ「ふくしま医療機器開発支援センター」など新しい産業の創出につながる研究機関、産業支援機関が立地し、さらには、インフラや交通体系の整備も進められ、新事業・新産業創出の適地として本県を牽引する地域として期待されております。

当機構の設立原点は「ものづくり企業への支援を通じた福島県産業の振興」であり、今年度も当機構の特徴、強みを活かして積極的に事業を展開して参ります。

一つには、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」を核とした起業支援です。

平成18年に日本大学工学部の敷地内に設置以来多くの企業に利用いただき、新製品開発や新分野進出のためにご利用いただいております。

現在の入居企業は、輸送用機器や医療機器、ロボット、ICT関連の企業など10社に入居いただいております。

今後とも、「ものづくり関連企業」に特化したインキュベーション施設として、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』であり、試作品づくりのための『設備』を有し、経営・技術面からの『人材』支援、そして、研究開発の成果を広く発表する『機会』を提供し、企業支援を積極的に図ってまいります。

二つには、技術コーディネーターによる支援であります。大手、中小製造業経験者による現場感覚の支援

が企業訪問件数の増加につながり、受発注案件などの様々な相談増に加え、企業と大学等との連携、企業と企業の連携案件も具体的に進展するなど、大きな強みを発揮しております。今後も、関係機関と連携しマンパワーを活かした支援に力を注いでまいります。

三つには、産学金官連携による支援であります。

連携の実を上げるには、そのとりまとめ役となる存在が必要です。

「新事業創出」や「人材育成・研究開発促進」、「起業化支援」などの業務推進にあたって、連携のとりまとめを率先して担うことで、様々な案件が着実に進展するよう引き続き努めてまいります。

また、今年度も引き続き、ものづくりインキュベーションセンターを活用し、製造業現場で利用増が見込まれるFA機器やロボットを中心に実機数種を展示するとともに、生産現場の省力化等の相談会を開催し、生産省力化・効率化、労働力不足解決の一助としてロボットをどう活用できるかに取り組んで参りますので、関係の皆様のご協力をお願いいたします。

当機構の運営は、基本財産運用益の活用が基本になりますが、今後とも厳しい状況が予想されます。選択と集中による効率的組織運営は勿論のこと、関係機関の企業支援策も活用させていただきながら、産業界から必要とされる機構であり続けるための仕事をしてまいりますので、関係の皆様のお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

## 郡山地域 テクノポリス 推進機構

ものづくり企業を  
応援します

>>> こんな考えをお持ちの企業の皆様、是非当機構をご利用ください。

新分野に  
挑戦したい

人材の育成を  
したい

技術相談を  
したい

取引を  
拡げたい

など

当機構  
沿革

1986年(昭和61年)3月に、福島県、テクノポリス圏域6市町村(郡山市、須賀川市、鏡石町、玉川村、石川町、三春町)、圏域企業の基金造成(約15億円)により設立。

### 令和2年度の主な事業

#### 1 ものづくりインキュベーションセンター運営(新事業創出育成事業)

- 重点事項** (1) 研究開発の  
「場」・「設備」・「機会」・「人材」による支援 …………… P3  
※入居企業10社(令和2年4月1日)



#### 2 人材育成・研究開発促進(技術振興事業)

- 重点事項** (1) 産学官連携による人材育成 …………… P5~6
- ① マイスターズ・カレッジ(中核ものづくり人材育成)  
【講師】日本大学工学部、県立テクノアカデミー郡山 他
  - ② 小中学生向けマイスターズ・カレッジ
- (2) 研究開発・事業化支援 …………… P7
- ① 技術コーディネーターによる企業訪問、技術相談、連携促進
  - ② 大学や産業支援機関等との連携



#### 3 起業化支援(地域技術起業化推進事業)

- 重点事項** (1) アライアンス(企業連携)の促進 …………… P8
- ① 3フォーラムの運営
- ロボット  
テクノロジー

健康医療福祉  
産業創生

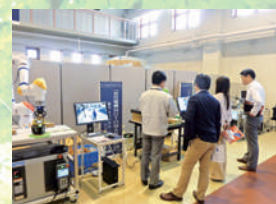
サステナブル  
地域づくり
- (コーディネーター:日本大学工学部教授)
- (2) ICTを活用した産業の振興…………… P11
- ① 郡山オープンイノベーション会議(郡山市、会津大学、当機構の三者連携協定)



### 郡山ロボットラボ2020

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議事業として、ロボットSlerの協力のもと、ロボット実機及び周辺設備・環境を展示し、ロボット活用を幅広く考える機会を創出する。

【日程】令和2年10月もしくは11月  
【場所】ものづくりインキュベーションセンター



### 広報

- 機関誌「サザンクロス」(年1回)、テクノポリスだより(毎月発行)
- ウェブサイト、メールマガジン
- 各種展示会等への出展

## ものづくりインキュベーションセンターの設置・運営

ものづくりインキュベーション  
センター建物外観

当機構は、国、福島県、郡山市、日本大学工学部等の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その運営・管理と関係機関との連携を行っています。

当センターは、“ものづくり”による新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室[11室]のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた「試作センター」や40人収容可能な「会議室」を設置しています。

また、研究開発・事業化支援のための専門家を配置し、様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学等の知的財産や産業支援ネットワークを活用し、入居者の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。

## 支援メニュー

研究開発による新製品の創出、起業化・事業化の成功率を高めるため、試作品等を設計・製作する「**場**」、試作に必要な基本的「**設備**」、及び技術のハード/ソフト両面で支援・コーディネートする「**人材**」、そして入居者による研究開発の成果を広く発表する「**機会**」を提供します。



■ 起業支援室(実験室タイプ)



■ 起業支援室(事務室タイプ)



■ 試作センター



■ 成果品展示コーナー

## 場

研究開発の拠点として、低廉な料金で入居でき、24時間365日利用可能な**起業支援室**[実験室タイプ(2室)/事務室タイプ(9室)]、**試作センター**や**会議室**、**展示コーナー**を設置しています。

## 設備

「試作センター」には試作品等の製作に必要な各種工作機械や高精度立体加工用マシニングセンタ等を、「会議室」には映像/音響設備等を備えています。

## 機会

入居者等の研究開発事業の成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための「**成果発表会の開催**」や「**展示コーナー**」に**成果品展示**などの機会を提供します。

## 人材

- ・インキュベーションマネージャーによる入居者等への研究開発・事業化支援や、専門家を配置し様々なサポートをハード・ソフトの両面から提供するとともに、郡山地域を中心とした大学の知的財産や産業支援ネットワークを活用して入居者等の要望に応じて、技術シーズの事業化を支援しています。
- ・管理員・技術コーディネーターによる当施設の管理、研究開発/技術の起業化に係る支援事業へのコーディネート、研究会やセミナーの開催、大学や公設試験研究機関等の研究者との連携や郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業間連携)形成への支援をします。

展示コーナー  
のご案内

当施設1階にある「展示コーナー」に、入居企業・卒業企業の研究成果品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。



## ■ バスケットワイヤーカテーテル

(株)アイアールメディカル工房

## ■ 監視カメラシステム

〈乾電池2本で1年以上運転可能な無線カメラ〉

(株)エムケー技研

■ 薄型多機能カード位置測位システム  
～屋内・屋外対応～

(株)Social Area Networks(ソーシャルエリアネットワーク)

## ■ MT~LINEレトラクターシステム

(株)マイステック

## ■ アルミニウム燃料電池

〈一次電池 試作品〉

(株)プロトンシステム

## ■ 弾性ロボットD-haT(ディーハット)

〈コミュニケーション・ロボット3号機「ゆき」ちゃん〉

(株)国際情報ネット

## ■ 医療針状把持鉗子

(株)ニチオン(卒業企業)

## ■ 安心ひつじ[睡眠センサー]

## ■ センサーネットワークのホームゲートウェイ装置

(株)テレジャパン(卒業企業)

## ■ 生キャラメル

〈6種類のフレーバー生キャラメル〉

(株)向山製作所(卒業企業)

## ■ バイオマスガスステーションメタン分解装置

(改質器)

(株)SAISEI LLC(卒業企業)

## 入居者紹介(令和2年4月現在)

起業支援 室No.	入居企業名	業種等	本社	入居日	主な研究開発テーマ	会社PR
1	株式会社 アスター 代表取締役 本郷 武延	輸送機械関連産業	横手市	平成29年 4月1日	高効率モーターコイルの研究開発	常に新しい発想。常に最上の品質追求。未来を創る企業として、確かな技術と工程管理で高品質の製品をお客様に提供します。
2	株式会社アイアールメディカル工房 代表取締役 河邊 大輔	医療機器製造販売業	郡山市	平成30年 3月1日	血管内治療用カテーテル製造事業	既に特許を取得している2つの革新的技術で、福島発、世界に通用する医療機器の開発を目指します。
3	株式会社エムケー技研 代表取締役 諸根 理仁	・ロボティクス/メカトロニクス応用機器の研究、開発、設計、製造並びに販売 ・研究開発支援事業	田村市	平成31年 4月1日	計測機器のプロトタイプの開発	主にロボット関連分野の受託開発を行っております。受託開発で得た知見を活かした製品、サービスの開発を進めて参ります。
4	株式会社Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	情報通信業	中央区	平成30年 3月1日	「コミュニケーションで繋がるFioT(Feeling Internet of Things)研究開発」LPWAをベースとした機器の研究・設計・開発	町・社会・サークルなどの様々なコミュニティが独自ネットワークを作り、ネットワーク上のサービスを生みだし充実させていくことで、今までに無いイノベーションとなり人々の生活と世の中を豊かにすることを目指します。
5	株式会社マイステップ 代表取締役 金井 克也	医療機器製造販売業	郡山市	平成28年 7月11日	脊椎手術用開創器システムの開発から事業化	Made in Japanによる手術器械の開発とブランド化を目指しています。
7	福島コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長 芳賀洋輔	ソフトウェアの提案・開発	郡山市	平成30年 12月1日	自転車用走行ログ記録装置(特許出願中) 自転車版ドライブレコーダー クラウドプロバイダー事業	品質の高いコンピューターシステムの「効率的な開発」と「安定した運用管理」をご提供いたします。
8	株式会社プロトンシステム 代表取締役 緑川 勲	電子機器製造業	仙台市	平成31年 1月4日	水素生成とアルミニウム一次電池を開発	再生可能エネルギーの開発の新規性の有る水素生成とアルミニウム一次電池を開発し非常用発電機を製品化することを目指します。
9	株式会社国際情報ネット 代表取締役社長 尾形 廣秋	ソフトウェア開発業務 インフラ整備、インフラ構築及び電気通信工事業	柏市	平成29年 10月1日	超高齢化社会に向けた介護支援ロボット開発	病院IT支援の実績とノウハウを踏まえて院内患者や高齢者施設などで活躍するロボット開発に努め人とロボットの共生する社会創出実現に頑張ります。
10	株式会社Fu-Tech 代表取締役 高山 正文	機械装置開発事業 サブリエント開発事業	加古川市	令和2年 2月1日	・機械装置開発事業:機械装置の開発、設計、製造ならびに販売 ・農業事業:農作物の生産から加工、販売	機械装置開発事業ならびに農業事業ともに福島県内で産学官の連携をとりMade in 福島として商品を作り上げたと思っています。
11	株式会社benefic 代表取締役 小林 聖	情報処理業	山形市	令和元年 6月1日	アプリやWEBのチェックを行う「第三者検証」の研究開発 人事評価システムの研究開発	弊社は、地元出身者や日本大学工学部を卒業したメンバーが中心となり活動しております。「人の心」を大事にし、地域や日本の将来のためになるような事業を展開して参りたいと思っております。

新製品開発から事業化までを支援

テクノポリス圏域内企業やグループ等の研究開発や起業化の取り組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

## 令和2年度 各種助成事業

## 1 F/S支援事業

研究開発や新事業創出等の成功率を上げるために、開発に着手する前段のフィージビリティスタディ(実現可能性・起業化可能性の調査検討=F/S)を行う場合に経費の一部(助成対象経費の2/3以内で100万円を限度)を助成します。

## 2 研究開発助成事業

新技術または新製品の開発、生産工程の合理化または製品の付加価値化、これらに類する技術の高度化に関する研究開発を行う企業、共同研究グループに対して、研究開発に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で200万円を限度)を助成します。  
ただし、再生可能エネルギー、医療福祉機器及びロボットに関する技術高度化に要する研究については300万円を限度とします。

## 3 地域技術起業化助成事業

技術革新の進展に即応した技術を製品化・商品化するため、その事業に向けて必要な商品開発、情報収集、市場開拓等の事業を行う企業や共同研究グループに対して起業化に要する経費の一部(助成対象経費の2/3以内で300万円を限度)を助成します。

※その他、技術高度化研修助成事業等があります。詳しくは、当機構にお問い合わせください。

令和元年度  
助成対象企業

令和元年度の助成事業対象企業は次のとおりです。

## F/S支援事業

ハイクテク技術を活用したきゅうり栽培の軽労化システムの実現性調査

株式会社エムケー技研

〈実施期間〉  
令和元年8月19日～令和2年1月31日

ハイクテク技術を活用し、県内の主農産品であるきゅうりの栽培の軽労化が図れ、作業の効率化、収益向上、更には若者の農業従事意欲を高めるための調査。

## 地域技術起業化助成事業

エゴマ自動選別機の製品化

日ノ出工機株式会社

〈実施期間〉令和元年12月中旬～令和2年3月31日

福島県の農産品であるエゴマ収穫後の選別作業の自動選別機について、試作機の問題点を改良し実用化を目指す。

## 技術高度化研修支援事業

マシニングセンターベーシックコース

株式会社エムケー技研

〈実施期間〉令和元年6月3日～令和元年6月7日

DMG森精機のマシニングセンタープログラムの受講

新製品開発から事業化までを支援

## 日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)郡山サテライトの開設

当機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産官学連携活動を活性化し、日本大学と企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・振興に寄与するため、「ものづくりインキュベーションセンター」内に『NUBIC郡山サテライト』を平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じています。(令和元年度 実績:14件)

主な相談内容  
 ・日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋  
 ・知的財産制度、その運用等に関する情報提供  
 ・研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介  
 ・その他、知的財産・産学連携活動の推進及び地域産業の活性化に資すること

【開設日時】毎月第4水曜日 午前10時から午後4時まで。事前申込みが必要です。

【開設場所 及び申込み先】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

【電話】024-926-0344

【E-mail】monodukuri@nm.net6.or.jp

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください

郡山地域をはじめ県内の中小企業や  
個人の方が対象です。相談は無料です。令和2年  
も開催予定

# 「Meister's College 2019」(マイスターズ・カレッジ2019)



開講式

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部との産学連携により、人材育成事業として平成18年度から継続開催している「Meister's College」(マイスターズ・カレッジ)を実施しました。

今年度は、「イノベーションマスターコース」の1コースで実施しました。

8月20日には、開講式を開催し、当機構の齋藤常務理事が「多様な知識・技術の習得により皆さん一人一人のスキルアップが図られるよう期待している」と挨拶しました。また、出村日本大学工学部長(代理:根本修克教授)が祝辞を述べました。開講式後、日本大学工学部機械工学科教授 武藤伸洋氏による基調講演を行いました。

## イノベーション マスターコース

製造業や設備保守の  
自動化に携わる方

10名

### ロボット・センサ・IoT技術に関する講座

このコースは、FAやIoTを実践する技術を習得できる講座となっており、日本大学工学部機械工学科 武藤伸洋教授が学術的な理論を講義いただきました。また、FA、IoTを事業として行っている(株)安川電機、安川エンジニアリング(株)、日本サポートシステム(株)、ロボコム(株)の担当者から具体的な利用例などを分かり易く講義いただくとともに、栃木県小山市にある「スマラボ」を視察し、先端のロボット実機の見学と活用例について講義を受けました。

また、今回、安全衛生特別講習の学科・実技講習を行い、受講者はロボット実機の手操作を行える修了証を手に入れました。

講座内容	日程	時間	場所	講師	
開講式・基調講演 及びオリエンテーション	8/20(火)	18:30~19:30			
導入へのマネージメント 及び 最新のIoTとFAについて	8/21(水)	15:00~17:00		(株)安川電機 安川エンジニアリング(株)	
ロボット制御(マニピュレータ)	8/26(月)	17:00~18:30	ものづくり インキュベーション センター会議室	日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏	
システム制御(センサ、ネットワーク)	9/ 3(火)	17:00~18:30		日本大学工学部 教授 武藤 伸洋 氏	
「生産現場で活用できる画像処理の基礎」	9/10(火)	15:00~17:00		日本サポートシステム(株)	
「構想設計の重要性」や、「全体最適化された スマートファクトリーの構築手順」	9/18(水)	15:00~17:00		ロボコム(株)	
スマラボ視察	9/25(水)	10:00出発 見学13:00~15:00		栃木県小山市 スマラボ	バス借り上げによる視察
安全衛生特別講習(学科)	10/ 1(火)	9:00~16:00		安川エンジニアリング 郡山営業所	(株)安川電機 安川エンジニアリング(株)
安全衛生特別講習(実技)	10/ 2(水)	9:00~16:00			



産学官連携による人材育成

## ちびっ子マイスターズ・カレッジ2019「動物の鳴き声を作ろう隊!」

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構・日本大学工学部

【実施日・場所・参加者】

令和元年 7月20日(土) 日本大学工学部8号館 2階208 高周波実験室 (午前の部)24組(親子48名)

【講師】日本大学工学部 准教授 田井 秀一 氏

(午後の部)23組(親子46名) 合計47組(94名)

「動物の鳴き声を作ろう隊!」は、講師の田井先生をはじめ石川先生・渡邊先生・学生さんにご指導いただき、お陰様で成功裡に終わることができました。午前の部48名・午後の部46名、併せて94名で実施いたしました。今回の親子工作は内容の難しさから5年生と6年生を対象に実施し応募者全員が参加でき大変喜んでおりました。

講師の田井先生から、簡単に電子回路を工作するためのブレッドボードの使い方について説明を受けたあと、サウンドICを使った工作キットの工作手順について学び苦戦しながらも先生や学生さんからのアドバイスを全て受け全員が完成しました。電子回路が奏でるネコ・イヌ・ウシ・ニワトリの鳴き声を聞きながら基礎的な内容を学び、ものづくりの楽しさを楽しんでいました。

この講座(電子回路工作)で学んだ事を夏休みの「自由研究」に活かす事ができるなど、楽しい日を親子で過ごすことができ大変好評でありました。



石川工学研究所次長の挨拶



開講式の様子



田井先生の講義



親子工作



工作キットの完成



修了証書授与



集合写真(午前の部)



集合写真(午後の部)

産学官連携による人材育成

## 中学生向け医工連携人材育成事業 “医療の道を歩む、未来への第一歩”

当機構では、中学生を対象に、日本大学工学部並びに民間企業の方々に講師を迎え、「医工連携に係る講義」や「模擬手術体験」等を通して、「医療全般」について理解を深め、福島の将来を担う医工連携人材の育成を図る『中学生向け医工連携人材育成事業』を開催しました。

ふくしま医療機器開発支援センターを会場に日本大学工学部の片岡教授から「医療現場で活かされる様々な工学技術」と題し医療現場で使用される医用工学機器について学習した後、4班に分かれ「手術室体験」、「看護体験」、「内視鏡体験」、「自動縫合機体験」を順に体験しました。参加した中学生は普段できない体験に目を輝かせ、真剣に、且つとても楽しんで取り組んでいました。

【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【共催】日本大学工学部

(一財)ふくしま医療機器産業推進機構  
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)

【実施日】令和元年 7月25日(木)

【実施場所】ふくしま医療機器開発支援センター

【講師】日本大学工学部 機械工学科 片岡 則之 教授  
(一財)ふくしま医療機器産業推進機構 職員  
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 社員

【参加者】38名



片岡教授講演



集合写真



手術室体験



自動縫合機体験



内視鏡体験



手術室体験

## 令和元年度 産学金官連携コーディネート業務

郡山市から、『産学金官連携による新事業・新産業創出を推進する。また、企業訪問による新たな連携可能な企業の発掘や情報収集も継続的に実施する』ことを目的とした委託業務を当機構が受託しました。

【発注者】郡山市  
 【件名】産学金官連携コーディネート業務  
 【受託期間】令和元年 6月3日 から 令和2年 3月27日まで  
 【実績概要】主な実績は以下の通り

## ① 企業訪問

## ① 市内企業への訪問

- ・125社(令和2年 3月27日現在)…令和元年度は、主に、金属製品製造業、生産用機械器具製造業、食料品製造業の業種の企業を中心に訪問を行いました。

## ② 郡山市産業振興事業への参画推進

## 川崎市 — 郡山市中小企業支援連携フォーラム

【実施日】令和元年 7月22日(月) 14:00~16:30  
 【実施場所】郡山市役所 本庁舎2階 特別会議室

## 郡山テック ミートアップ

【実施日】令和2年 2月5日(水) 13:30~16:00  
 【実施場所】郡山市音楽・文化交流館  
 ミューカルがくと館 中ホール

## 川崎市 — 郡山市合同企業訪問キャラバン隊への参加

【実施日】令和元年 7月22日(月) 11:00~  
 【訪問先】福島コンピューターシステム株式会社  
 【キャラバン隊】

川崎市、川崎市産業振興財団、シンクタンクソフィア、東邦銀行、  
 福島県発明協会、郡山市、郡山地域テクノポリス推進機構

【実施日】令和元年 8月30日(月) 14:00~  
 【訪問先】株式会社リゾーム  
 【キャラバン隊】

川崎市、川崎市産業振興財団、福島県発明協会  
 郡山市、郡山地域テクノポリス推進機構

## ② 各種支援機関が一体となった企業支援

## ① 合同企業訪問件数

- ・57社(令和2年 3月27日現在)…自治体や産業支援機関、金融機関等と連携し、合同で企業訪問を行いました。

## ③ 学術研究機関と市内企業とのマッチング

## ① 研究・産業支援機関等への訪問

- ・19回(令和2年 3月27日現在)…大学等高等教育機関や研究機関、医療機関等の学術・研究機関へ訪問し、ニーズ等の把握を行うとともに、企業等とのマッチングを支援しました。

## ② 産学金官による事業化支援

## エゴマ選別機の製品化

- ・日ノ出工機(株)
- ・福島県農業総合センター
- ・福島県発明協会
- ・郡山市産業創出課



## 骨粉碎機の開発

- ・(株)アサカ精機
- ・(株)サージカルスパイン
- ・総合南東北病院
- ・ふくしま医療機器産業推進機構
- ・日本大学工学部
- ・郡山市産業創出課



## 生しいたけ自動選別機プロジェクトチーム

- ・林精器製造(株)
- ・JA全農ふくしま
- ・(株)キーエンス

## コミュニケーションロボットの社会実装

- ・(株)国際情報ネット
- ・筐体製造協力企業
- ・今泉女子専門学校
- ・福島県立テクノアカデミー郡山校

コミュニケーション  
ロボット

## ④ その他 市内企業の情報や企業の製品等を掲載した小冊子の作成



## 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織(アライアンス)を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

令和2年3月1日現在、54社が参画しています。

令和元年度は、受発注の推進に向けた活動を強化し新たに企業製品発表会(プレゼン会)を行うとともに、当形成会議を広く知ってもらうため、特別講演会を開催しました。



役員会

### 事業体系

令和元年度

形成会議

役員会

事務局

#### 特別講演会

#### 研究開発推進部会

##### ■ロボットテクノロジーフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 武藤 伸洋 氏

ボードメンバー企業: 東成イーピー東北株式会社 / 株式会社日東紡テクノ / 林精器製造株式会社

##### ■健康医療福祉産業創生フォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部機械工学科 教授 片岡 則之 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ニチオン / アルファ電子株式会社 / 日本全薬工業株式会社

株式会社エヌジェイアイ / 株式会社アサカ精機 / 有限会社エスグ

##### ■サステナブル地域づくりフォーラム

コーディネーター: 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城 一郎 氏

ボードメンバー企業: 株式会社ユアテック 須賀川営業所 / 株式会社あおい

株式会社アーバン設計 / 陸奥テックコンサルタント株式会社

株式会社アルサ / 株式会社北斗型枠製作所

#### 受発注推進部会

##### ■企業製品・研究成果等 発表会(プレゼン会)

#### 研究開発プロジェクト

■生しいけ自動選別機研究開発プロジェクト: 林精器製造株式会社 / 日本大学工学部 / JA全農福島

■Eコマ自動選別機製品化: 日ノ出工機株式会社 / 福島県農業総合センター

福島県発明協会 / 郡山市産業創出課

### 事業方針

※当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

1 会員企業相互の強みを生かしたアライアンス(連携、協調)を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。

2 会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。

3 会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。

4 会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

### 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

### 役員

令和2年3月1日現在

役員	氏名	企業名	会員役職
最高顧問	高木 茂保	エスケー電子工業(株)	取締役相談役
会長	林 明博	林精器製造(株)	代表取締役社長
副会長	大槻 努	作田電機(株)	代表取締役社長
委員	高橋 晃一	(株)アーバン設計	代表取締役
委員	高島 伸幸	(有)エスグ	代表取締役
委員	神田 雅彦	神田産業(株)	代表取締役
委員	吉田 尚正	(株)吉城光科学	代表取締役社長
委員	森尾 和衛	日本全薬工業(株)	専務取締役
委員	水上 哲夫	(有)ばすわーど	代表取締役
委員	桑原 勝幸	(株)リゾーム	代表取締役社長
監査	吾妻 柄穂	日ノ出工機(株)	顧問
監査	遠藤 正成	(株)北斗型枠製作所	代表取締役

## 1 会議・交流会等の開催

### ① 役員会

- 【開催日】
- ・令和元年 5月17日(金)
  - ・令和元年 8月8日(木)
  - ・令和元年 11月5日(火)
  - ・令和2年 2月4日(火)
- 【会場】ものづくりインキュベーションセンターほか
- 【参加者】当形成会議役員
- 【内容】
- ・平成30年度 事業報告及び収支決算報告について
  - ・令和元年度 事業計画(案)及び予算(案)について
  - ・令和元年度 役員(案)について
  - ・新規会員企業について ほか



総会

### ② 総会・交流会

- 【開催日】令和元年 6月5日(水)
- 【会場】ホテルハマツ
- 【参加者】31名
- 【内容】
- ・平成30年度 事業報告及び収支決算報告について
  - ・令和元年度 事業計画(案)及び予算(案)について
  - ・令和元年度 役員について



特別講演会

### ③ 特別講演会

- 【開催日】令和2年 2月4日(火)
- 【会場】ホテルハマツ
- 【参加者】70名
- 【内容】当形成会議を広く知ってもらうため、会員以外も聴講できる講演会を開催しました。講師には、「株式会社タジマコーポレーション」の執行役員 会長室プロジェクトリーダーの上荒磯祥彦氏をお招きし、ご講演いただきました。
- 【演題】次世代モビリティ事業の取り組みについて
- 【講師】株式会社タジマモーターコーポレーション  
執行役員 会長室プロジェクトリーダー 上荒磯 祥彦 氏



特別講演会



特別講演会

## 2 受発注推進部会

受発注推進部会は、会員企業の有する技術、手法、情報、経験などを認識することで、アライアンス(企業連携)や受発注を推進するための部会です。好評の企業製品等発表会は、会員企業のみならず、高等教育機関や産業支援機関等からもプレゼンいただきました。

### ① 第7回 企業製品・研究成果等発表会(プレゼン会)

- 【開催日】令和元年 6月5日(水)
- 【会場】ホテルハマツ
- 【参加者】40名
- 【内容】会員企業による企業紹介
- アルファ電子株式会社  
専務取締役兼管理部部長 樽川 千香子 氏
  - 株式会社アサカ精機  
代表取締役 渡邊 研一 氏

#### 【紹介・案内】

- 「NUBIC」について
- 日本大学本部  
研究推進部知財課日本大学産官学連携知財センター  
コーディネーター 小野 洋一 氏



企業製品・研究成果等発表会



企業製品・研究成果等発表会後の交流会

### 3 研究開発推進部会

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。

現在、分野別に「サステナブル地域づくりフォーラム」・「健康医療福祉産業創生フォーラム」そして「ロボットテクノロジーフォーラム」と3つの研究会が活動しています。

以下、これら研究会の活動状況を紹介します。

#### サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。

#### ○第6回 サステナブル地域づくりフォーラム

～持続可能で自立した地域づくりを目指して～

【開催日】令和元年 7月31日(水) 14:00～

【場 所】葛尾村復興交流館あぜりあ 【参 加】40名

【内 容】●コーディネーターからの話題提供及び意見交換

【テーマ】持続可能で自立した地域づくりを目指して



浦部教授の案内で施設を見学

#### ① サステナブル地域づくりフォーラム

in かつらお2019

〈講師〉

日本大学工学部 土木工学科  
教授 岩城 一郎 氏



岩城教授による話題提供

#### ③ 復興・地域のための拠点づくり

～単体から複合へ～

〈講師〉

日本大学工学部 建築学科  
教授 浦部 智義 氏



浦部教授による話題提供

#### ② グリーンインフラによる復興支援

～花壇による汚水の多目的利活用～

〈講師〉

日本大学工学部 土木工学科  
教授 中野 和典 氏



中野教授による話題提供

#### ④ 鳥獣との共生を目指す3Dマップがつからお

〈講師〉

日本大学工学部 情報工学科  
准教授 中村 和樹 氏



中村教授による話題提供

#### 健康医療福祉産業創生フォーラム(開催中止)

今後とも市場規模が拡大すると考えられる、健康・医療・福祉介護分野にテーマを広げ、「新しい医療関連産業の創出・研究開発の推進」を目指します。

#### ○第7回 健康医療福祉産業創生フォーラム

【開催日】令和元年 11月20日(水)

【場 所】日本大学工学部次世代技術研究センター

【内 容】●医工連携

ものづくり企業による医療機器分野への  
参入について

〈第一部 基調講演〉

【講 演】「医工連携分野から見た医療機器産業の現状、  
最新の動向」

一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ  
理事長 谷下一夫 氏

〈第二部 パネルディスカッション〉

【パネリスト】日本大学工学部機械工学科 教授 片岡 則之 氏  
一般社団法人 日本医工ものづくりコモンズ

理事長 谷下一夫 氏  
総合南東北病院 臨床工学科技士長 安藤 啓子 氏

#### ロボットテクノロジーフォーラム(開催中止)

製造ライン等へのロボット導入を推進し、生産効率化や人手不足解消等の一助とするため、ロボット実機と周辺機器、画像による紹介など、製造現場に沿った内容の展示を行います。

それぞれセミナーも開催しますので、是非ご覧いただけますようご案内します。

#### ○Koriyama Robot Lab 2019

【開催日】令和元年 10月28日(月)～11月8日(金)

【場 所】郡山地域テクノポリス

ものづくりインキュベーションセンター  
日本大学工学部内

【主 催】公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

【共 催】日本大学工学部、郡山地域テクノポリス市町村協議会、郡山地域テクノポリス推進協議会

【後 援】福島県、圏域内各市町村(郡山市、須賀川市、石川町、鏡石町、玉川村、三春町)、日本大学工学部工学研究所ロボットシステム基盤プロジェクト

## 企業連携の促進

## 須賀川方部アドホック研究会



総会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。



東北電力 東新潟火力発電所視察



株式会社型製作所視察



海外視察研修(佐々木鉄工ベンディングフィリピン)



キャッシュレス決済について講演会



福島ロボットテストフィールド視察

令和元年度  
事業内容

会員数 26名(令和2年2月末現在)

会長 神田雅彦(神田産業㈱ 代表取締役)

## 4月 定期総会〈特別例会〉

墨田・葛飾プレス安全協議会の視察対応・交流会

## 5月 例会〈視察研修(新潟県)〉

●東北電力東新潟火力発電所  
新潟市産業振興財団戦略的複合共同工場

## 6月 例会〈月別テーマ検討会〉

## 7月 例会〈視察研修(福島県)〉

●(株)北斗型製作所

## 8月 例会〈視察研修(福島県)〉

●須賀川地方衛生センター

## 9月 例会〈講演会〉テーマ:キャッシュレス決済について

講師:三井住友カード(株)  
法人戦略部 本屋敷 賢治 氏

## 10月 例会〈海外視察研修(フィリピン)〉

ジェットロマニラ事務所・(株)佐々木鉄工ベンディング  
フィリピン・カネパッケージ(株)フィリピン社 ほか

## 11月 例会 海外視察研修報告

12月 例会〈講演会〉テーマ:須賀川市議会議員になって  
講師:須賀川市議会議員 鈴木 洋二 氏

## 1月 例会〈勉強会〉テーマ:ドローンに関する勉強会

講師:(株)アルサ 鹿又 睦 氏

## 2月 例会〈視察研修(福島県)〉

福島ロボットテストフィールド、タニコー(株)小高工場

## 3月 例会 次年度事業計画意見交換会

## ICTを活用した産業の振興

## 郡山オープンイノベーション(KOI)会議の開催

郡山市、会津大学、当機構の三者による包括連携協定の締結を受け、企業や地域が持つ課題の解決に向け意見交換を実施しました。

【日 時】令和元年 7月1日(月) 13時30分～15時00分

【場 所】会津大学 UBIC 【参加者】8名

【内 容】会津大学 上級准教授

朱 欣 氏の研究シーズを活用した機器開発

【日 時】令和2年 1月29日(水) 14時00分～15時30分

【場 所】テクノポリス事務室 【参加者】7名

【内 容】会津大学 産学イノベーションセンター准教授

由本 聖 氏と企業支援に係る意見交換



第4回 KOI全体



第5回 岩瀬先生の講演



第5回 大型災害対応ロボット「援電」の実演

## 受発注機会の創出

## ICTを活用した商談会(Linkers)

平成28年12月に当機構とリンクアース株式会社が覚書を締結し、当機構が大手発注企業と地元受注企業との懸け橋になるコーディネーターとして登録されました。

リンクアースを通じた大手発注企業からの具体的な技術探索依頼に対して、当機構の強みである各分野に精通した各コーディネーターが圏域企業の技術等の目利きを行い、受注候補として推薦し、新規取引先の成立を支援してまいります。

Linkers案件 199件 ▶ 発注案件に係る 紹介企業数 8件

平成31年4月1日～令和2年3月31日

産学官連携による人材育成

## 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構や郡山高度情報化システム研究会などと連携して、テクノポリス圏内のICT化支援、高度情報化の推進を図るため、圏域内市町村、各種団体・企業、大学・情報系高校・専門学校等の協力のもとさまざまな事業を展開しています。令和元年度の主な事業は次の通りです。なお、令和2年度については、RPA並びにIoT関連講座の開催や小・中学生を対象としたプログラミング教室、ロボット教室やパソコン組立て体験学習の実施、ICT関連企業や国際アート&デザイン大学校や国際情報工科大学校等と連携した就職支援活動を実施して参ります。

## ICT交流事業

Connect2019 in Koriyama, with UDC  
アイデアソン『地域を知るワークショップ』

ハッカソン「Connect2019 in Koriyama, with UDC」の実施に向けて、地域課題の掘り起こしを行うため、国際アート&デザイン大学校・国際情報工科大学校の協力を得て開催しました。



会場風景

【日時】令和元年8月29日(木) 13:30~16:30

【会場】国際医療看護福祉大学校 ANNEX校舎4F「講堂」

【協力】国際アート&amp;デザイン大学校、国際情報工科大学校

【参加者】120名

◇第1部

〈講演1〉「アイデアソン×ハッカソンで地域の課題解決」

講師:中林 寿文 氏(NPO法人国際ゲーム開発者協会日本 副理事長、サイバース(株)社長)

〈講演2〉「地域のICT人材育成の必要性」

講師:大久保 仁 氏(エフスタ!!代表)

◇第2部 ワークショップ

「郡山地域を知るワークショップ」発表とパネルディスカッション

パネリスト:郡山市産業観光部、郡山市政策開発部、福島県企画調整部

セーフコミュニティフェスタ  
こおりやま2020 作品展示

郡山市セーフコミュニティ国際認証取得2周年を迎え、みんなでつくる安全・安心のまち「セーフコミュニティこおりやま」の活動報告や講演会、パネル展示等を通じ、活動の推進と市民への理解促進を図る目的で開催されました。

【日時】令和2年2月1日(土) 12:30~16:30

【会場】郡山市立中央公民館

多目的ホールほか

【参加】一般市民、郡山市セーフコミュニティ推進協議会会員他

【出展】ハッカソン

3作品

・マパナラ

・アクシファイ

・災害どん



出展風景

## 情報化人材育成・研修事業

## ちびっ子マイスターズ・カレッジ2019「コンピューター動かし隊!」

小中学校の新学習指導要領に組み入れられるプログラミング教育の環境整備と子供たちの論理的思考力を養い、圏域におけるICT化推進並びに将来の高度ICT人材育成を目的に実施されました。実施にあたり福島県立テクノアカデミー郡山校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校の学生たちのアシストを頂きました。

【開催日時】(玉川・石川会場/日本大学工学部70号館) 令和元年7月20日(土) 14:30~16:30(10名)

(須賀川会場/須賀川市民交流センター「tette」) 令和元年7月21日(日) 午前(17名)、午後(12名)

(郡山会場/郡山商工会議所会館) 令和元年7月28日(日) 午前(10名)

【参加者数】合計49名(郡山:10名、須賀川:29名、石川・玉川:10名) 【参加対象者】テクノポリス圏域内小学校高学年(5~6年生) 【講師】(株)ブレインバージョン代表取締役社長 菅家 元志 氏 他1名 【使用教材】「Scratch(スクラッチ)」(子供向け教育用プログラミング言語) 【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 【共催】須賀川市、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 【協力】ふくしまICT利活用推進協議会、福島県立テクノアカデミー郡山校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立清陵情報高等学校 【後援】郡山市・須賀川市・三春町・鏡石町・石川町・玉川村教育委員会・郡山高度情報化システム研究会



全員で記念撮影

## Connect2019 in Koriyama, with UDC(ハッカソン)

「ビッグデータやオープンデータを活用して、地域課題を解決するアプリケーションを作ろう」をテーマに、1泊2日の合宿形式でアプリを開発するイベント。事業を通してプログラミング技術の向上やコミュニケーション能力を高めることを目的に実施しました。オープニングセミナーでは、NPO法人国際ゲーム開発者協会日本、日本マイクロソフト(株)、東北TECH道場に講師を務めて頂きました。

市内ICT関連企業や県立テクノアカデミー郡山校、国際アート&デザイン大学校、国際情報工科大学校等から多数参加頂き大いに盛り上がり充実した2日間でした。

【開催日時】令和元年 12月21日(土)~22日(日) 9:00~18:00 【開催会場】郡山市青少年会館 【参加者数】94名(12チーム) 【オープニングセミナー講師】NPO法人国際ゲーム開発者協会日本 副理事長 中林 寿文 氏/日本マイクロソフト(株) パートナー事業本部 テクニカルエバンジェリスト 物江 修 氏/東北TECH道場 小俣 博司 氏 【主催】郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 【共催】郡山市/(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 【運営進行】(株)福島情報処理センター 大久保 仁 氏(エフスタ!!代表) 【運営協力】ふくしまIoTビジネス共創ラボ/エフスタ!!/日本マイクロソフト(株)/アーバンテータチャレンジ2019実行委員会/東北TECH道場 【後援】郡山商工会議所/圏域内市町村/須賀川商工会議所/鏡石町・石川町・三春町・玉川村商工会/郡山高度情報化システム研究会/NPO法人国際ゲーム開発者協会日本

【郡山市長賞】 ほのかなひかり(エフスタ!!)/マパナラ  
【郡山高度情報化システム研究会賞】 安積高校物理部(社会人・学生混合)/ACCIFY「アクシファイ」  
【Connect2019(ニュー・コメ)賞】 田舎っぺ。(A&D、wiz)/Lossless「ロスレス」  
【マイクロソフト賞】 アームシェイカーズ(テクノアカデミー郡山)/ゆるコレ



全員で記念撮影

入賞チーム名および  
アプリケーション名

【郡山市長賞】 ほのかなひかり(エフスタ!!)/マパナラ  
【郡山高度情報化システム研究会賞】 安積高校物理部(社会人・学生混合)/ACCIFY「アクシファイ」  
【Connect2019(ニュー・コメ)賞】 田舎っぺ。(A&D、wiz)/Lossless「ロスレス」  
【マイクロソフト賞】 アームシェイカーズ(テクノアカデミー郡山)/ゆるコレ

ICT 高度利用推進事業

RPA(ロボティク・プロセス・オートメーション) セミナー

働き方改革の一環として事務作業の効率化が期待されているRPAについてセミナーを開催しました。事務作業の一部を24時間稼働可能なソフトウェア(デジタル・レイバー)が人に代わって行うもの。既に稼働しているRPAの導入事例などについても解説して頂きました。午前が自治体対象、午後は一般対象で行いました。

- 【開催日時】令和元年 7月19日(金) ▶10:00~12:00(自治体向け) ▶14:00~16:00(一般向け)
- 【開催会場】郡山市中央公民館 2階「第2講義室」 【参加者数】67名(午前:28名/午後:39名)
- 【講師】一般社団法人日本RPA協会 永岡 翼 氏 / 郡山市こども部こども育成課 伊野波 盛斗 氏
- 【共催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
- 【後援】圏域内市町村、商工会議所・商工会、郡山地域テクノポリス推進協議会、郡山高度情報化システム研究会

※RPA(ロボティク プロセス オートメーション)とは、ソフトウェアのロボット技術により、定型的な事務作業を自動化、効率化すること。特に、事務を補充・代行する仕組み。



セミナーの様子

働き方改革セミナー(新型コロナウイルスの流行により延期)

働き方改革の最先鋒を行き、2018年「働きがいのある会社」女性ランキングで、2年連続第1位となったサイボウズ(株)の社内事例を紹介して頂く内容でした。

- 【開催日時】令和2年 3月11日(水) 14:00~16:00
- 【開催会場】郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター「会議室」
- 【演題】「働き方改革って何?!」 【講師】サイボウズ(株)仙台営業所 所長 武田 卓也 氏
- 【共催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構



総会・監査会・ボードメンバー会議

監査会

- 【開催日時】平成31年 4月19日(金) 正午~
- 【開催会場】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 会議室
- 【議題】平成30年度 事業報告・一般会計決算書の監査

総会

- 【開催日時】令和元年 5月13日(月) 14:00~
- 【開催会場】郡山商工会議所会館 5階「5-2会議室」
- 【議題】平成30年度 事業報告・収支決算書  
令和元年度事業計画(案)・収支予算(案)の件  
ボードメンバー委員補充選任の件

第1回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】令和元年 6月26日(水) 14:30~
- 【開催会場】郡山地域テクノポリス  
ものづくりインキュベーションセンター「会議室」
- 【議題】総会報告、ボードメンバー委員補充選任の件  
令和元年度 事業計画の件

第2回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】令和元年 10月9日(水) 14:30~
- 【開催会場】郡山地域テクノポリス  
ものづくりインキュベーションセンター「会議室」
- 【議題】Connect2019「ハッカソン」、ちびっこマイスターズ・カレッジ「コンピューター動かし隊」、RPA講習会、こおりやま産業博(ものづくりプレゼン&交流会)、メディカルクリエーション2019の件

第3回 ボードメンバー会議

- 【開催日時】令和2年 2月19日(水) 14:30~
- 【開催会場】郡山地域テクノポリス  
ものづくりインキュベーションセンター「会議室」
- 【議題】ちびっこマイスターズ・カレッジ「コンピューター動かし隊」、Connect2019「ハッカソン」、「セーフコミュニティフェスタこおりやま」報告、令和2年度事業計画(案)について意見交換

令和2年度の主な事業・イベント 令和2年度は、RPA講座の開催やICT関連企業と連携した事業を実施して参ります。			
4月	●令和元年度決算監査(4/17(金))	5月	●令和2年度総会(書面)(5/12(火))
7月	●働き方改革セミナー(7/15(水))	8月	●RPAセミナー(8/19(水)) ●アイテアソン (FSGとの連携事業)
9月	●RPA操作実習研修(9/16(水))	10月	●第2回ボードメンバー会議(10/14(水)) ●Koriyama Robot Labとの連携セミナー
11月	●Connect2020ハッカソン(11/14(土)~15(日)) 郡山市青少年会館	12月	●春休み ~ジュニアマイスターカレッジ~ 中学生、小学生5・6年向けロボット制作教室<16組> 福島大学 高橋研究室
1月	●セミナー<AI, IoT, ロボット等> ●セーフコミュニティフェスタ2021	2月	●第3回ボードメンバー会議(2/17(水))

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構

【会場】ビッグバレットふくしま

イベントへの出展

県内外から多くの来場者が見込まれるイベントに出展し、当機構が取り組む事業紹介や、ものづくりインキュベーションセンターに入居する企業の成果発表の場として活用しました。

こおりやま産業博	ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REFIふくしま2019)	メディカルクリエーションふくしま2019	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま2019
【開催日】 令和元年 10月 11日(金)、12日(土)、13日(日) 台風19号の影響により12日は15時まで、13日は中止。	【開催日】 令和元年 10月30日(水)、31日(木) 【来場者】6,858人	【開催日】 令和元年 11月27日(水)、28日(木) 【来場者】3,742人	【開催日】 令和元年 11月22日(金) 23日(土、祝日) 【来場者】8,000人

## 令和元年度 理事会等の開催報告

## 理事会

- 第1回**【日 時】令和元年 6月7日(金)  
【場 所】インキュベーションセンター  
【内 容】平成30年度事業報告及び決算 ほか
- 第2回**【日 時】令和元年 11月11日(月)  
【場 所】決議の省略の方法による開催(書面)  
【内 容】評議員会招集(役員補充選任)
- 第3回**【日 時】令和元年11月26日(火)  
【場 所】インキュベーションセンター  
【内 容】特定資産の取崩し ほか
- 第4回**【日 時】令和2年3月23日(月)  
【場 所】インキュベーションセンター  
【内 容】令和元年度業務執行状況及び補正予算  
令和2年度事業計画及び当初予算  
評議員会招集(役員補充選任)

## 監査会

- 【日 時】令和元年5月22日(水)  
【場 所】ビッグパレットふくしま  
【内 容】平成30年度事業及び決算

## 評議員会

- 第1回**【日 時】令和元年5月8日(水)  
【場 所】決議の省略の方法による開催(書面)  
【内 容】補充評議員3名、補充理事2名  
補充監事2名の選任
- 第2回**【日 時】令和元年6月27日(木)  
【場 所】インキュベーションセンター  
【内 容】平成30年度事業報告及び決算  
令和元年度事業計画及び収支予算
- 第3回**【日 時】令和元年11月19日(火)  
【場 所】決議の省略の方法による開催(書面)  
【内 容】補充理事1名の選任

## 令和2年度の主な事業・イベント

5月

- ・アライアンス役員会
- ・監査会(5/22)

6月

- ・アライアンス総会・プレゼン等
- ・理事会(決算)(6/12)
- ・評議員会(決算)(6/30)
- ・郡山地域産業支援機関連絡会議

7月

- ・技術等審査委員会
- ・ちびっこマイスターズ・カレッジ
- ・サステナブル地域づくりフォーラム

8月

- ・中学生医工連携人材育成事業(8月上旬)
- ・マイスターズ・カレッジ(8月下旬～11月上旬)
- ・INC入居者審査委員会(8月下旬)

10月

- ・アライアンス・企業製品・研究成果等発表会
- ・助成事業第2回公募(10/1～11/30)
- ・REIFふくしま(10/28～29)
- ・ロボット・ラボ開設(10月下旬～11月上旬)
- ・健康医療福祉産業創生フォーラム

11月

- ・産学官連携フォーラム
- ・メディカルクリエーションふくしま(10/16～10/17)

12月

- ・理事会(業務執行状況)(12月上旬)

1月

- ・技術等審査委員会
- ・INC入居者審査委員会(1月下旬)

2月

- ・アライアンス特別講演会

3月

- ・理事会(予算)

郡山市、会津大学、当機構の3者による「郡山オープンイノベーション会議(KOI会議)」も実施してまいります。  
その他、須賀川方部アドホック研究会では、毎月定例会を開催します。

## 役員・職員等の紹介

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期:平成30年 6月28日～令和2年 6月 定時評議員会】 令和2年 5月8日現在(順不同・敬称略)

理事長	滝田 康雄	郡山商工会議所会頭
常務理事	福内 浩明	郡山商工会議所専務理事
理事	福井 邦顕	日本全業工業(株)代表取締役会長
理事	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長
理事	根本 修克	日本大学工学部長
理事	佐藤 理夫	福島大学共生システム理工学類長
理事	橋本 喜宏	鏡石町産業課長
理事	佐藤 康博	石川町企画商工課長
理事	溝井 浩一	玉川村産業振興課長
監事	村上 浩	(株)大東銀行取締役本店営業部長
監事	永山 晋	三春町産業課長

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期:平成30年 6月28日～令和4年 6月定時評議員会】 令和2年 5月8日現在(順不同・敬称略)

評議員	伊藤 清郷	郡山商工会議所副会頭
評議員	山田 慶太	郡山商工会議所工業部会長
評議員	神田 雅彦	須賀川商工会議所工業部会副会長
評議員	岩城 一郎	日本大学工学部工学研究所長
評議員	須藤 英穂	(株)東邦銀行常務取締役本店営業部長
評議員	奥崎 修司	東北電力ネットワーク(株)郡山電力センター所長
評議員	鈴木 清昭	(公財)福島県産業振興センター理事長
評議員	藤城 良教	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	鈴木 伸生	須賀川市経済環境部長
評議員	石澤 哲夫	郡山市産業観光部次長兼産業政策課長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

令和2年 5月12日現在(順不同・敬称略)

会長	滝田 康雄	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	根本 修克	日本大学 工学部長
副会長	小暮 憲一	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	村上 康雄	郡山商工会議所 工業委員長
委員	竹谷 金浩	NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
委員	瓜生 利典	(株)エフコム 代表取締役社長
委員	水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
委員	大原 和弘	福島県 企画調整部 情報政策課長
委員	堀江 直宏	福島県 商工労働部 産業創出課長
委員	栗花 信介	福島県 ハイテクプラザ副所長
委員	畠中 秀樹	郡山市 政策開発部長
委員	鈴木 伸生	須賀川市 経済環境部長
委員	小貫 秀明	鏡石町 総務課長
委員	福内 浩明	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	藤橋 桂市	郡山市 産業観光部長
監事	霜鳥 勉	郡山商工会議所 開発事業部長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

令和2年 5月12日現在(順不同・敬称略)

竹谷 金浩	NTT東日本 福島支店 郡山営業支店長
水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役
小林 秀明	(株)福島情報処理センター 郡山システム部 部長
二瓶 幸恵	(株)エフコム 執行役員兼サービスピジネス本部長
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス マネージャー
和田 秀勝	WiZ 国際情報工科大学自動車学校 学校長
吉田 尚央	プリマックス(株) 取締役
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 編集制作本部 副本部長(統括編集長)
菅家 元志	(株)プレインペーション 代表取締役社長
桑折 直樹	(株)東邦銀行 郡山営業部 上席副部長
渡辺 豊	郡山市 政策開発部 ソーシャルメディア推進課長
須田 勝浩	須賀川市 経済環境部商工課長
小貫 秀明	鏡石町 総務課長

### (公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

令和2年 4月1日現在

常務理事	福内 浩明	郡山商工会議所出向
事務局長兼事業部長	鈴木 秀明	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	後藤 隆	福島県OB
企画管理課長	連沼 晴樹	郡山市派遣
技術振興課長	関根 隆仁	須賀川市派遣
管理員兼技術コーディネーター	佐藤 喜幸	
技術コーディネーター	佐藤 正弘	
技術コーディネーター	吉田 裕二	インキュベーションマネージャー
技術コーディネーター	井上 明博	
技術コーディネーター	筋内 一男	
総務担当	鈴木 琴子	
情報化支援担当	久保田江美	(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)



お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

## 編集／発行 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階  
 TEL.024-947-4400/FAX.024-947-4475  
 E-mail techno@nm.net6.or.jp URL http://www.techno-media.net6.or.jp/  
 【Facebookページ】https://www.facebook.com/technoandnmc  
 【メールマガジン登録】  
 http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。